



# HARA MUSEUM ARC

ハラ ミュージアム アーク プレスリリース 2020年8月31日

クリスト

内倉ひとみ

## SHOP@CAFE Christo/Hitomi Uchikura

ハラ ミュージアム アーク カフェ ダール

2020年8月21日 [金] - 11月3日 [火・祝] 10:00 am - 4:30 pm



「暮らしにアート」をキーワードに日常を彩る作品やとっておきのグッズを紹介するSHOP@CAFE。その第10弾では、5月31日に84歳で永逝したアート界の巨星クリストによる直筆サイン入りのオフセットリトグラフと、パリやベルリンを活動拠点としてきた内倉ひとみによる光をテーマとする珠玉の小品の数々を展示・販売いたします。

なお、当館現代ギャラリーで開催中の「きぼうのかたちー原美術館コレクション」展では、当館所蔵のクリスト作品10点を、特別展示室 観海庵の「競演ー永徳・探幽・応挙」展では、同じく内倉ひとみ作品もあわせてご鑑賞いただけます。

### クリスト

1935年ブルガリア生まれ。1958年にパリで同じ日に生まれたジャンヌ＝クロードと出会い、以降公私共にかけがえのないパートナーとして数々のプロジェクトの実現を目指すようになる。初期には瓶や缶などの日用品を包む作品を発表する一方、「積まれたドラム缶」などの作品で注目されはじめ、1964年ニューヨークに移住。日用品から建築物や自然へと「包む」対象のスケールを拡大し、同時に包む以外の方法で布を使う大規模な作品を展開していった。以降、「ランニングフェンス」(カリフォルニア、1976年)、「囲まれた島々」(フロリダ、1983年)、「アンブレラ、日本＝アメリカ合衆国」(カリフォルニアと茨城、1991年)、「梱包されたライヒスターク」(ベルリン、1995年)、「ゲーツ」(ニューヨーク、2005年)など、市民や行政や自然環境を取り込んだ数々の巨大プロジェクトを実施。それらの作品を通してクリストとジャンヌが追求してきたのは「JOY(喜び)とBEAUTY(美)」であり、その作品の大半は完成した後、数日から数週間で姿を消す。原美術館では1983年に「クリスト：包まれた遊歩道」展や複数の講演会を、またハラミュージアム アークでは1990年に「クリスト：囲まれた島々」展を開催。2020年5月31日逝去。

### 内倉ひとみ

1956年鹿児島県生まれ。多摩美術大学絵画科日本画専攻、1982年同大学芸術研究科修了。1985年現代作家の登竜門と呼ばれた「ハラアニュアル5」(原美術館)に選出、2003年-2004年文化庁新進芸術家派遣海外研修制度によりフランスに派遣。以降、日本とヨーロッパを往復しながら活動を続ける。主な個展に「リュミエール」(エスパスキュルチュールベルタンポアレ、パリ、2006年)、「リュミエール」(日独センター、ベルリン、2012年)、「内倉ひとみ展」(ガレリエディユツコ、パリ、2013年)、「リュミエール」(セミヨンコンテンポラリー、ベルリン、2018年)、「光・彩 リュミエール」(シュンアートギャラリー、上海、2015)など、主なグループ展に「光あれ！ー光と闇の表現者たち」(栃木県立美術館、2012年)、「かかわりのアート」(霧島アートの森、2013年)、「光と影」(ヴァッサーギャラリー、ベルリン、2017年)などがある。また、ハラミュージアム アークでは特別展示室 観海庵の落成記念展(2008年)に、原美術館では「開館35周年記念 原美術館コレクション」展他に出品。現在、栃木県那須町在住。



1



2



3



4

- 1、2、内倉ひとみ作品(参考図版)
- 3、クリスト作品(参考図版)
- 4、カフェ ダールでの展示販売の様子

### 【問い合わせ先】

Tel. 0279-24-6585 arc@haramuseum.or.jp (広報担当：山川、柳田)

ハラ ミュージアム アーク (群馬県渋川市金井 2855-1) <https://www.haramuseum.or.jp>

開館時間 9:30 am - 4:30 pm [入館は 4:00 pm まで] 休館日: 木曜日

入館料: 一般 1,100 円 / 大高生 700 円 / 小中生 500 円 / 70 歳以上 550 円 / 未就学児無料